

連覇へ向けマ

生産者をはじめ、関係機関・団体が「チーム鹿児島」の団結のもと、出品対策に全力で取り組んでいます。

出品牛の選抜

本県からは、牛の姿・形を審査する「種牛の部」に16頭、肥育牛の肉質等を審査する「肉牛の部」に7頭、高校及び農業大学の部(特別区)に1頭を出品する計画です。

和牛登録協会県支部、県経済連、各地区の農協等で組織される「第12回全国和牛能力共進会鹿児島県推進協議会」では、肉用牛農家に対して、それぞれの出品区分に対応した指導を行っています。

「種牛の部」では、関係機関・団体と連携した「巡回調査」や「集合審査会」による候補牛の掘り起こしに取り組み、順次候補牛を選抜します。

「肉牛の部」では、昨年6月から県内のトップレベルの肥育農家において候補牛の肥育が始まっています。牛肉中のうまみ成分であるオレイン酸などの含有量の向上に向けた「飼料給与マニュアル」や超音波肉質診断技術等を活用した定期的な飼養管理指導を実施しながら出品牛を選抜します。

審査のポイント

「種牛の部」では、発育の良さを評価するため「体の深さ・伸び・幅」などが審査されます。併せて、牛の寿命や出産間隔に影響する「体の縮まり」や「容形のきれいさ」などの外観も審査されます。

「肉牛の部」では、枝肉の「肉量・肉質・脂肪の質」が審査されます。また、「特別区」では、出品牛の審査に加えて、各学校の取り組み発表も評価の対象となります。

第12回 全共鹿児島大会の出品区分

区分	種目	生後月齢	出品頭数
種牛：出品予定頭数計16頭			
1区	若雄	15~23か月齢未満	2頭
2区	若雌の1	14~17か月齢未満	2頭
3区	若雌の2	17~20か月齢未満	2頭
4区	繁殖雌牛群	3産以上	3頭
5区	高等登録群	14か月齢以上	3頭
6区	総合評価群(種牛群)	17~24か月齢未満	4頭

肉牛：出品予定頭数計7頭			
6区	総合評価群(肉牛群)	24か月齢未満	3頭
7区	脂肪の質評価群	24か月齢未満	3頭
8区	去勢肥育牛	24か月齢未満	1頭

高校及び農業大学校：計1頭			
特別区	高校及び農業大学校	14~20か月齢未満	1頭
出品予定頭数計：24頭			



大会本番を見据えた「県集合審査会」



候補牛掘り起こしのための「巡回調査」

大会までのスケジュール



和牛の魅力と体感 鹿児島県の魅力を発信

メイン会場となる「種牛の部」会場では、牛を審査する「共進会エリア」のほか、来場者が子どもから大人まで、楽しみながら和牛の魅力を感じ、くつろげる会場となるよう準備を進めています。

ご来場をお待ちしております!



主なエリア

① 共進会エリア

審査会場と牛舎の設置



② 道府県PRエリア

参加道府県の和牛や観光・物産・文化の紹介及び交流促進



③ 和牛振興エリア

全国の銘柄牛や和牛の魅力の発信

- 全国銘柄牛等のPR・試食
- 県産畜産物のバーベキュー
- 楽しみながら和牛について学ぶ 和牛PR館「かごしまミュージアム」



④ 鹿児島県PRエリア

鹿児島県の農林水産物や特産品等の展示・販売、観光・文化のPR

- 黒牛、黒豚、茶、さつまいも、薩摩焼等の展示・販売



⑤ 協賛企業団体エリア

畜産ICTなどの最新技術、農業機械等の展示・紹介



大会開催に向けて盛り上げる! PR活動を展開



和牛フェス盛り上げ隊

県内の農業高校生・農大生からなる「和牛フェス盛り上げ隊」が、学校行事等で鹿児島大会のPRに取り組んでいます。

写真は、天文館ベルク広場で開催された「青春市場」(農業高校の生産物を販売)における大会PRの様子です。



カウンタダウンボードの設置

大会開催まで1年となった昨年10月6日、鹿児島県庁にカウンタダウンボードを設置し、除幕式を行いました。

カウンタダウンボードは、県庁のほか、JA鹿児島県会館や会場となる霧島市・南九州市の市役所、鹿児島空港に設置しています。



「1年前イベント」開催

昨年10月、鹿児島中央駅AMU広場で1年前イベントを開催しました。

全共のパネル展示や県産和牛を使ったテイクアウトマルシェなどを行い、多くの方に全共について理解を深めていただくとともに、和牛の魅力を発信しました。

こちらでも情報を発信中

公式
ホームページ



Twitter



facebook



第12回全共 検索